

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育課程編成によって幅広い履修と多様な選択機会を提供し、生徒の学習希望に応えるとともに、知識技能を活用し探究する学習の充実を図り特色ある学校づくりを推進する。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲を向上させ、各教科における基礎的・基本的な学力を高めるとともに、思考力・判断力・表現力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度や意欲を養う。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の告示を踏まえ、社会に開かれた教育課程を目指し、主体的・対話的で深い学びの確立に向け、教員の授業改善と指導力向上を組織的、計画的に進める。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の家庭学習習慣を確立させるとともに、思考力を高める探究活動を各単元で行う。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員相互の授業見学を2回以上行うとともに、報告書のシートに新学習指導要領の視点に係る項目を加え、さまざまな視点から意見交換等が行える環境を整える。 「学力向上職員研修」において、新学習指導要領の視点を取り入れられるよう内容を工夫していく。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 小テスト、週末課題等の組織的な実施により、家庭学習の定着を図るとともに、学習状況について検証する。 自分で問題(テーマ)を発見し、研究できるような自学自習型の家庭学習の方策について検討する。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業見学を組織的に2回以上実施し、新学習指導要領の視点について意見交換できたか。 適切なテーマ設定で研究授業等が実施され、その内容が各教員の授業実践にどれだけ役立てられたか。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績関連のデータから家庭学習習慣と学力の定着の関係がみられたか。 各教科等で自学自習型の家庭学習の取組みについて実践できたか。
2	(幼児・児童) 生徒指導・支援	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の規範意識を醸成させる指導体制と個に応じた相談体制を充実させ、安心して生活できるよう支援する。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動や委員会活動を通じて、個々の生徒がその興味関心を深め、より主体的で豊かな学校生活を送るよう支援する。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの困り感やニーズを把握し、学年を超えた職員の連携のもと課題解決に当たる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動全般を生徒自らが興味関心を深め、自主的・主体的に協力して取り組めるように支援する。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権や個人情報保護に留意しつつ、職員会議や学年会を通じて事案の内容やルールを周知し、職員の共通認識を形成しつつ、生徒の指導を進める。 情報交換会議やスクールカウンセラーを交えたケース会議と適宜実施して、個々の生徒の事情に応じた生徒指導を行う。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校行事を通して、生徒自身が組織の一員として自主的・主体的に諸活動に取り組むことができ、その意欲を日常の学校生活に生かせるように指導助言を行う。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権の尊重や個人情報の保護の徹底を図りつつ、職員の共通認識のもとで、一貫した生徒指導体制が確立できたか。 情報交換会議などを機能させ、生徒指導の諸問題の解決を図れたか。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸活動での生徒の自主性・主体性を十分に伸ばすことができたか。日常生活でその自主性・主体性を発揮できたか。

3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の定着と問題解決能力の向上を図り、生徒一人ひとりが自らの意志と責任でよりよい選択をするための力を身につけることを目標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりが自らの意志と責任でよりよいキャリアをデザインできるよう支援する。 ・進路に関する的確な情報提供を行うとともに相談体制を確立し、生徒一人ひとりがそれぞれに適した進路目標を達成できるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験などの結果を、適切な時期・場面で提供し、今後のキャリアをデザインする際に必要な情報として活用できるようにする。 ・進路に関する的確な情報を適切な時期・場面で提供し、二者面談、三者面談や進路相談週間などはもちろん、日々の学校生活の中で相談しやすい環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験などの結果を、今後のキャリアをデザインする際に必要な情報として活用できたか。 ・日々の学校生活の中で相談しやすい環境を整備することができたか。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・本校で学習した生徒の能力や教員の様々な知識・能力を積極的に地域還元することで、開かれた学校づくりを展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に地域貢献活動の意義を理解させ、学年・部活動単位で活動を企画実施できるようにする。 ・公開講座など地域の方々のニーズを踏まえた行事を企画運営する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献デーを11月に1年生全員で実施する。また、7月には3年生、2月には2年生の代表が地域貢献活動を行う。 ・部活動単位の地域貢献活動を引き続き計画・実施する。 ・公開講座「リフレッシュダンス」の企画・実施をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に地域貢献活動の意義を周知・理解させた上で、各学年や部活動で活動を展開することができたか。 ・満足度の高い公開講座を企画・実施できたか。
5	学校管理 学校運営	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故・不祥事の防止を徹底するとともに、教職員の実践的指導力を一層向上させる。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の防災意識を高め、安全対策を一層強化する。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の業務における事故・不祥事防止に組織的に取り組み、事故・不祥事を未然に防止する。 <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内だけでなく地域と連携した防災訓練を実施し、生徒の学校生活中における防災意識の向上を図るとともに、地域における生徒の役割を理解させ、安心・安全な学校づくりを行う。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故・不祥事の防止に向けて、事故防止会議やグループ会議、学年会等の様々な機会を通し、職員の意識の向上を図る。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を年2回以上行い、さらに授業時間以外の活動において避難経路の周知徹底を行うことで、災害時の自助・共助の基本的行動について確認させるとともに、防災意識の向上を図る。 ・地域と連携した災害図上訓練(DIG)を実施し、地域の一員であるという自覚と防災意識を高める。 ・学校と地域・行政が、災害発生時に円滑な連携の下に活動できる体制を構築する。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の事故・不祥事の防止に対する取組は徹底できたか。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を年2回以上実施し、生徒の防災意識が高まったか。 ・地域と連携した災害図上訓練(DIG)を実施し、地域における役割を生徒に理解させることができたか。 ・地域と連携しながら学校の防災機能を最大限に果たせるよう、防災マニュアルの見直しが行えたか。